

令和8年度第1回 大和市文化財保護審議会 会議録

日時: 令和8年8月7日(金)

10時30分～12時30分

出席者等

委員(5名)	◎金子 皓彦、○鈴木 通大、坂本 要、田中 徳久、神崎 直美
事務局(4名)	健幸・スポーツ部長、文化振興課長、市史・文化財係長、 市史・文化財係職員2名
傍聴者	なし

◎…会長 ○…職務代理者

◆公開・非公開の状況

■公開 □非公開 □一部非公開

◆会議次第

1 開会

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について 資料1—1～2

(2) 令和8年度文化財保護事業の予定について 資料2—1～4

3 その他

4 閉会

◆会議要旨

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について

前回会議(令和8年2月26日)での委員の意見を基に作成した評価案(資料1—1)について
審議。この評価案に委員の意見を反映したものを、本審議会の評価とする。

(2) 令和8年度文化財保護事業の予定について

事務局より資料2—1を中心について説明。質疑あり。委員の意見を参考にして、本年度も事業にあたってもらいたい。

3 その他

次回審議会の事務連絡など

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について

事務局より資料Ⅰ―Ⅰ「令和7年度 指定管理者事業報告概要及び評価(案)」ほか参考資料について説明、委員との質疑を行った。

【総括】

□開園から30年以上が経過し、安定した事業運営・経営がなされているが、今後は、学校とより一層連携し、若い世代に文化財を知ってもらう取り組みがなされることに期待する。今回の審議会からの意見を参考に、具体的な数値等を加筆・修正し、事務局作成の評価案を本審議会の評価とする。

【業務実施状況について】

□小学生にもっと来園してもらい、呼び込む取り組みをしてほしい。そのためには、まず学校や先生に見識をもっていただけるよう、プリント等を作成し、地元の文化・歴史を知ってもらう研修会を開いても良いのではないかと。教育委員会に働きかけていってはどうか。

△教員の働き方改革もあり、課外活動が難しくなっている。小学生向けの授業やプログラムを市側でも検討し、小学校長会などで説明することも考えていきたい。指定管理者からも今期の更新時に、学校にもっと利用してもらえよう事業やPRを検討するとの提案があった。

△今年(令和8年)8月に、下鶴間ふるさと館で水鉄砲合戦を開催し、たくさん子どもたちが参加してくれた。こういった事業を民家園でも開催し、古民家施設を知ってもらう取り組みも続けていきたい。

□出前授業は行っているのか。

△依頼があれば出張している。回数は年度によってばらつきがあり、令和6年度は4件くらいあった。

□内容はこういったものか。

△市内の文化財全般について、依頼者の希望の内容で行っている。小学校からの依頼では、3年生の生活の授業で学ぶ昔の暮らしについての授業が多い。生徒からの手ごたえを感じている。

□出前授業を受けた生徒たちが民家園に行きたいと思い、さらにその実現につながるような工夫を検討してほしい。

△出前授業に参加する生徒向けのスタンプラリーを実施するなど、授業から他の文化財に関心をもってもらえるようなイベント等も検討していきたい。

□カミキリムシが寄生したカワヅザクラを3本伐採・伐根したとのことだが、カミキリムシの実物は確認できたか。

△実物の確認はできなかったと聞いている。そのため、県から注意喚起されている特定外来生物のクビアカツヤカミキリかどうかは特定できていない。

□来園者数の数年単位の推移表があると良い。

(2) 令和8年度文化財保護事業の予定について

事務局より資料2—1「令和8年度 文化財保護事業の予定」ほか参考資料について説明。

【総括】

□委員の意見を参考にして、本年度も事業にあたってもらいたい。

【民俗文化財保護事業について】

□福田神社の囃子獅子舞について、現在の無形民俗文化財を解除し、道具を有形文化財として再登録するのか。道具は他の囃子獅子舞の団体と比して多いのか少ないのか。今年度どのように進めていくのか。

△昨年8月の審議会でのご指摘を受けて、文化財保護指導委員を通じて、市内の団体の実施状況を確認した。今年度は各団体に直接連絡を取り、道具の内容や数、獅子舞の実施状況、保管の有無などをヒアリングし、次年度以降に実地調査に入れるよう準備を進めていく予定である。

△近隣市で無形民俗文化財の指定を解除した後、道具の寄贈・調査を経て、有形文化財への指定を検討している事例があるとの情報があった。今後の参考のために確認したいと考えている。

【下鶴間ふるさと館の開館20周年記念事業について】

△今年度開館20周年を迎えるため、いくつかのイベントを実施する。若い世代の方にもふるさと館を知ってもらいたいと考え、7、8月に水鉄砲の講座・イベントを開催した。小学生を中心に多くの参加があり、親子でも楽しんでもらえた。特に水鉄砲合戦は、募集初日には定員に達し、当日も天候も良く、参加者の満足度も非常に高かった。来年度以降も実施を検討したいと考えている。

□ぜひ継続してほしい。

3 その他

【事務局からのお知らせ】

①「カナガワ リ・古典プロジェクト」について

県が事務局を務めている「カナガワ リ・古典プロジェクト」について、今年度は大和市を会場に開催される予定。本市の無形民俗文化財の団体も参加が予定されている。

②令和8年度第2回文化財保護審議会について

来年2月に予定している。